

2006年8月15日

 会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2006年7月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

(株)高島屋計	分社4店含む実質
+1.2	+1.6

7月度は百貨店事業、広域事業ともに前年売上実績を上回り、分社4店含む実質では+1.6%となった。前年実績のクリアは昨年9月度以降、11ヵ月連続となった。中元は立ち上がりからの累計売上が前年3%強の堅調な伸びとなった。

分社4店とは、関西地区の**岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋**、関東地区の**高崎高島屋**です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+0.3	+0.7

18店計の売上では前年実績を0.7%上回り、10ヵ月連続のプラスとなった。長梅雨や日照不足等が売上全体に影響を及ぼし、地区別では関東に比べて影響の大きかった関西が苦戦した。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大坂店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	4.1	1.8	2.2	0.5	+25.6	1.1
入店客数	6.5	0.1	1.0	4.6	+53.5	0.6

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
3.1	1.5

大坂店の売上高には**和歌山店・堺店**の売上高を、京都店の売上高には**洛西店**の売上高をそれぞれ含みます。

大坂店・京都店の入店客数はそれぞれ**単店**になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+3.0	+2.4	+2.0	+3.1	+0.2	+1.8	+0.9	+1.1
入店客数	0.3	0.9	4.6	1.9	1.6	1.2	3.9	6.5

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+2.2	+2.2

横浜店の売上高には**港南台店**の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は**単店**になります。

関西地区は、雨天の影響等により、9店中で洛西店・岐阜店の2店のみが前年売上実績を上回った。大坂店は、各種営業施策を展開したものの長梅雨の影響や外商の店外催事等の伸び悩みで美術、特選衣料雑貨等の高額商品群やファッション商材、食料品等、全般的に低調であった。京都店も特選衣料雑貨、宝飾品等の高額商品群の低迷や改装工事の影響が加わり、前年実績を下回った。一方、リニューアル効果が持続する岐阜店は10ヵ月連続で前年実績を上回った。

関東地区では全9店が前年売上実績を上回った。東京店では、特選衣料雑貨は前年を下回ったが、リニューアル後の好調が続く呉服や美術、宝飾品といった高額商品群、紳士服、婦人服等が売上を伸ばした。横浜店は衣料品・雑貨といったファッション商材に加え、呉服や宝飾品、食料品等が好調で前年実績を上回った。新宿店は宝飾品が売上を2桁伸ばした他、ファッション商材や食料品も堅調に推移し、前年プラスとなった。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	+22.0	+12.9	+18.6

法人事業は、企業向け販促品等で大型物件の計上があり、前年売上実績を大きく上回った。通販事業は、7月に発刊した**カタログ**が好調に推移し、婦人服や雑貨、食料品等で売上を伸ばした結果、2桁の売上プラスとなった。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	(株)高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	+0.2	+0.3
婦人服・洋品	+1.9	+2.5
子供服・洋品	+0.1	+0.1
その他衣料品	+4.0	+2.9
衣料品計	+1.5	+1.9

	(株)高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	0.4	+0.1
家具	2.6	2.6
家電	+4.1	+6.2
その他家庭用品	+2.4	+2.5
家庭用品計	+1.0	+1.2

	(株)高島屋計	分社含む実質
食料品	+0.7	+1.4
食堂・喫茶	0.2	+0.8
雑貨	+3.9	+3.4
サービス	+10.7	+10.3
その他	0.2	0.3
合計	+1.2	+1.6

当社分類による百貨店事業の商品別概況

多雨や日照不足の影響を受けながらも、端境期の商材投入等でファッション商材は堅調な動きを見せた。紳士服(前年対比+2.9%)は、クルビズのスタイリングで定着したジャケットやTシャツ等の夏物衣料、秋色の半袖ポロシャツなどに動きがあった。婦人服(同+2.1%)はヤング・キャリアゾーンが健闘し、トレンドアイテムのワンピースやジャケット、プリントのスカート等の動きが良かった。婦人雑貨(同+4.8%)ではサンダル、パラル等の商材は伸び悩むものの、婦人靴、婦人アクセサリ、ハンドバッグ等の主要アイテムが売上を伸ばした。その他、宝飾品(同+2.1%)、紳士雑貨(同+1.6%)、リビング(同+1.6%)、食料品(同+1.3%)等が前年実績を上回り、美術(同9.1%)、特選衣料雑貨(同1.2%)、呉服(同0.6%)等は前年実績に至らなかった。